

日本鐵鋼協會第四回講演大會プログラム

第一日 十一月二十四日（土曜日）講演會 午前九時開會

會場 大阪實業協會々館（西區西長堀北通一丁目一五市電四ツ橋下車）

開會之辭 大會實行委員長 京都帝國大學教授 工學博士 齋藤大吉君
講演（午前之部） 午前九時三十分開演

1. 熔銑爐操業に於ける低炭素セミステール製造に關する基本的研究
 大阪工業試験所技師 工學士 堀切政康君

2. 黒心可鍛鑄物製造に用ふる充填材料に就て
 京都帝國大學助教授 工學博士 澤村宏君

（休憩 10 分間）

3. 鑄鐵の黒鉛の形狀に就て
 廣海軍工廠造機部々員海軍造機大尉 工學士 齋藤豊三君

4. 高溫度に於ける鑄物砂の性質
 東京帝國大學助教授 工學博士 三島徳七君

5. 鐵鋼事業の日支關係
 裕銻鑛公司經理 盧成章君

晝食（同會館地下室にて）

講演（午後之部） 午後一時開演

6. 陂來土鑄鐵の實用化に就て
 三菱神戸造船所技師 工學士 瀬戸静夫君

7. 鎔鑛爐内に於ける珪素の還元に對する實驗
 東京帝國大學助教授 工學士 田中清治君

（休憩 10 分間）

8. 本邦と米獨との鐵鑛資源比較
 八幡製鐵所 技師 工學士 田上禎吉君

9. 輕合金の硬化 海軍技術研究所々員 海軍造兵大尉 工學士 松山寛慈君

（休憩 10 分間）

10. インゴットケースの研究
 吳海軍工廠製鋼部々員 海軍造兵少佐 工學士 西津靄吉君

11. 鑄鐵の化學成分と液相線との關係に就て
 神戸製鋼所 技師 工學士 山田福治君

（休憩 10 分間）

12. 鋼の滿俺と熔滓 東北帝國大學教授 工學士 大石源治君

13. 滿俺鋼の變態點及顯微鏡組織 東北帝國大學教授 理學博士 村上武次郎君

拜啓先般別便を以て配布致し候プログラム中「13」長谷川博士は公私事上の都合に依り出演相不叶候に付「20」
 下の村上博士を「13」に繰上げ「20」以下順次追詰め「25」題を以て終結と相成此の都合に依りプログラムの通り候間御了承被
 度此段謹告候也

日本鐵鋼協會通俗講演會 (大阪毎日新聞社後援)

時 日 十一月二十四日 午後六時三十分 開會

會 場 大阪毎日新聞社 講堂 (市電櫻橋停留場下車)

開會之辭 日本鐵鋼協會々長 工學博士 服 部 漸 君

本邦鐵鋼需給の現在と將來

日本鐵鋼協會評議員 八幡製鐵所技監 工學博士 野 田 鶴 雄 君

鐵鋼材の種類と其用途との關係

日本鐵鋼協會理事 東京帝國大學教授 工學博士 俵 國 一 君

活動映畫 八幡製鐵所作業狀況 漫畫 鐵公物語

閉會之辭 大會實行副委員長
株式會社住友製鋼所常務取締役 工學士 加 藤 榮 君

第二日 十一月二十五日 (日曜日) 講演會

會 場 第一日に同じ

講 演 (午前之部) 午前九時 開演

14. バナジウム鋼の物理冶金的研究

東北帝國大學金屬材料研究所員 工學士 大 屋 正 吉 君

15. 歐米に於ける小形鋼材の壓延裝置及其附屬設備に就て

八幡製鐵所條鋼部員 平 井 要 君

(休憩 10 分間)

16. 鋼材の燒戻残留歪力に就て

吳海軍工廠製鋼部々員 海軍造兵大尉 工學博士 佐々川 清 君

17. 壓延工場に於ける加熱爐の熱能率と鋼片の大小に因る損得比較

八幡製鐵所技師 理學博士 海 野 三 郎 君

(休憩 10 分間)

18. 窒化作用を鋼の表面硬化に應用の研究

陸軍砲兵大尉 工學士 小 籾 重 行 君

19. 鋼の A¹ 變態點以下の燒入に因る機械的性質を論じて鋼材の燒入

屈曲試験に及ぶ 汽車製造株式會社技師 工學博士 井 口 庄 之 助 君

太 田 三 吉 君

書 食 (同館地下室にて)

講 演 (午後之部) 午後一時開演

20. 電氣鋼の透磁性に就て 三菱長崎造船所技師 工學士 中 村 道 方 君

21. 含酸素の二三の性質 九州帝國大學教授 工學博士 井 上 克 己 君

(休憩 10 分間)

22. ニセコ鋼の特徴及製法に就て

日本製鋼所技師 理學士 蒔田宗次君

23. 鐵鋼の滲炭に及ぼす諸含有元素の影響に就て

日本熱煉工業所々長 工學博士 高橋源助君

(休憩 10 分間)

24. クロム鋼の焼戻と鐵、クロム合金の可淬性に就て

日本特殊鋼合資會社技師 理學博士 松下徳次郎君

永澤清君

25. 鐵、炭素系二重平衡圖に就て

東北帝國大學金屬材料研究所長 理學博士 本多光太郎君

閉會之辭

日本鐵鋼協會々長 工學博士 服部漸君

(閉會午後五時)

晚餐會 (午後六時開會)

場所 大阪ビルデング食堂 (北區宗是町一番地ビルデング八階市電田
菱橋下車)

第三日 十一月二十六日 (月曜日)

工場見學 午前九時迄に汽車製造株式會社 (此花區島屋町四〇六番地市電
恩貴島南之町下車徒歩約 10分) に集合の事

イ	汽車製造株式會社	午前	時分	9,00-	午後	時分	10,00
ロ	株式會社住友製鋼所(此花區島屋町、外國人謝絶)	"	10,10-	"	11,30	住友製鋼所より住友倉庫のランチにて海上住友倉庫へ至る		
ハ	株式會社住友倉庫築港支店南海岸通倉庫			時		時分		
	(港區南海岸通).....	正午	0.00-	午後	1,30			

晝食 (住友製鋼所より提供せらる)

午後第一、第二班に分ち住友倉庫のランチに依り住友倉庫より海上日本ゼ
ネラルモータース會社又は大阪製鐵株式會社へ至る

第一班

イ	日本ゼネラルモータース株式會社 (港區鶴町).....	午後	時	2,00-	午後	時分	3,30
ロ	栗本鐵工所 (港區新炭屋町).....	"	4,00-	"	5,00	

第二班

イ	大阪製鐵株式會社(港區南恩加島町).....	"	時	2,10-	"	時分	2,10
ロ	ダツト自動車製造株式會社大阪支店						

(港區南恩加島町、外國人謝絶) " 3,20 - " 4,20

第四日 十一月二十七日 (火曜日)

工場見學

午前九時迄に神戸製鋼所本工場(山手の工場、神戸市脇濱町阪神電車脇濱停留所下車 5 分或は汽車灘驛下車約 10 分)に參集の事

イ 株式會社神戸製鋼所本工場 午前 9,00 - 午前 9,45

本工場見學後 A.B の 2 班に分れ A 班はロ、ハ、の順に B 班は

ハ、ロ、の順に次の兩工場を見學の事

ロ 株式會社神戸製鋼所脇濱工場 (神戸市脇濱町) } 午前 9,55 - 午前 11,35
ハ 株式會社川崎造船所製鋸工場 (神戸市脇濱町)

晝食 (川崎造船所及神戸製鋼所より提供せらる)

午後第一班、第二班に分つ

第一班

イ 久保田鐵工所尼ヶ崎分工場 (尼ヶ崎市大洲村) ... 午後 1,30 - 午後 2,30

ロ 住友伸銅鋼管株式會社尼ヶ崎工場 (尼ヶ崎市大洲村)
..... " 3,00 - " 4,00

散會

第二班

イ 陸軍造兵廠大阪工廠 (東區杉山町、外國人謝絶、
廠内模寫撮影禁止) 午後 2,00 - " 4,00

散會

工場隨意見學 十一月二十八日 (場合に依り二十九日に及ぶ)

○日本電力株式會社尼ヶ崎發電所 尼ヶ崎大洲村東濱一 (阪神出屋敷下車 20 分)

○株式會社日本可鍛鑄鐵所 東淀川區今里町一〇 (阪急十三下車 5 分)
(同業經營者又は從業者は見學斷り。見學總人員 50 名以内。豫め職業、氏名等を同會社へ通知するに付御承知ありたし。入場の際名刺を申受く。見學時間午前中)

○大阪製煉株式會社 西淀川區大野町一二 (阪神傳法線福下車 6 分)

○造幣局 北區新川崎町一 (市電天滿橋北詰下車 5 分)

○小鹿皮革工業所 西淀川區海老江町一五五三ノ五 (阪神國道野里下車 5 分)

○株式會社日本鑄鋼所 港區千島町三八三 (市電小林町下車 15 分)

○株式會社大林組工作所 港區千島町六 (市電千島町下車約 4 分)

隨意工場見學に於ても工場作業の妨害とならざる様、會員の御申込狀況によりプログラムを作成し講演會場に掲示致します。